

金珠狼



続 染色妻

その後の地味巨乳妻清水恵子 4
夫婦円満編



続 染色妻

その後の地味巨乳妻清水恵子 4

夫婦円満編

離婚届

令和 1年 5月 1日 届出

(宛先)

氏名	氏名	氏名	氏名
生年月日	生年月日	生年月日	生年月日
住所	住所	住所	住所
職業	職業	職業	職業
婚姻届の氏名	婚姻届の氏名	婚姻届の氏名	婚姻届の氏名
婚姻届の生年月日	婚姻届の生年月日	婚姻届の生年月日	婚姻届の生年月日
婚姻届の住所	婚姻届の住所	婚姻届の住所	婚姻届の住所
婚姻届の職業	婚姻届の職業	婚姻届の職業	婚姻届の職業

記入の注意

鉛筆や消えやすいインクで書かないでください。
 婚姻届の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の名前を書いてください。
 年齢は1歳でさしつかえありません。
 そのほかに必要なもの 選択離婚のとき一調停調書の原本 和解離婚のとき一和解調書の原本
 審判離婚のとき一審判調書の原本と確定証明書 協議離婚のとき一協議調書の原本と確定証明書

証人 (協議離婚のときだけ必要です)			
氏名	氏名	氏名	氏名
生年月日	生年月日	生年月日	生年月日
住所	住所	住所	住所
職業	職業	職業	職業

今年結婚4年目
 になる32歳の
 平凡な
 サラリーマンだ

俺の名前は
 清水修二



何で恵ちゃんが
 あんな爺と
 ……!?


何故なら
 嫁の不倫現場を
 ガッツリ目撃
 してしまっ
 からである

クソッ……



ついでの間まで
 俺達夫婦の
 関係は円満
 だったのだが


俺はその日
 離婚届の前で
 真剣に
 悩んでいた




その時まで
嫁以外の経験が
無かった俺は

腹いせに風俗等で
色んな女を
抱いてみたが

全く満足感は無く
ただ虚無感ばかり
募って行くのだった



そんな感じで
嫁への愛情は段々と
薄れていき



ついには
夫婦の会話も
最近ほぼゼロに
なっていた



「ごちそうさま」

……



嫁と顔を合わすのも流石にしんどくなってきたので

スマホで別居用のアパートを寝室で検索していると

……

何……？



あの……修くん……

久しぶりに嫁が話しかけてきたので

俺は少しイラつきながら振り返ると――

！？

ハハ

彼女は見慣れない
紫の下着を着け
そこに立っていた



恵ちゃん
それ…？

は?!
え!?

その姿に心底
驚いた俺は

彼女と冷戦中
なのも忘れ
思わず
問いたでした



う…

修くん…

妻はそれに
答える間もなく
俺に近寄り



爺との不倫に対して
であろう弁明を
始めた

……ごめんなさい
……

修クンは全然
悪く無いの

悪いのは本当に
全部私……

離婚されても
全然仕方無いと
思ってる

ただ……
これだけは言わせて……

本当に私が——
私が愛してるのは……

修クン唯一人なの

それだけ
どうしても
伝えたくて……

……恵ちゃん

そして

俺たち夫婦は
数か月ぶりに
唇を重ねたのだった

チュ...

その瞳には
大粒の涙が
浮かんでいた

内心途惑いつつも
彼女の方を見ると

修クン...
ごめんね...
私こんな事しか
できなくて...

この下着も
喜んでもらえる
かなって...

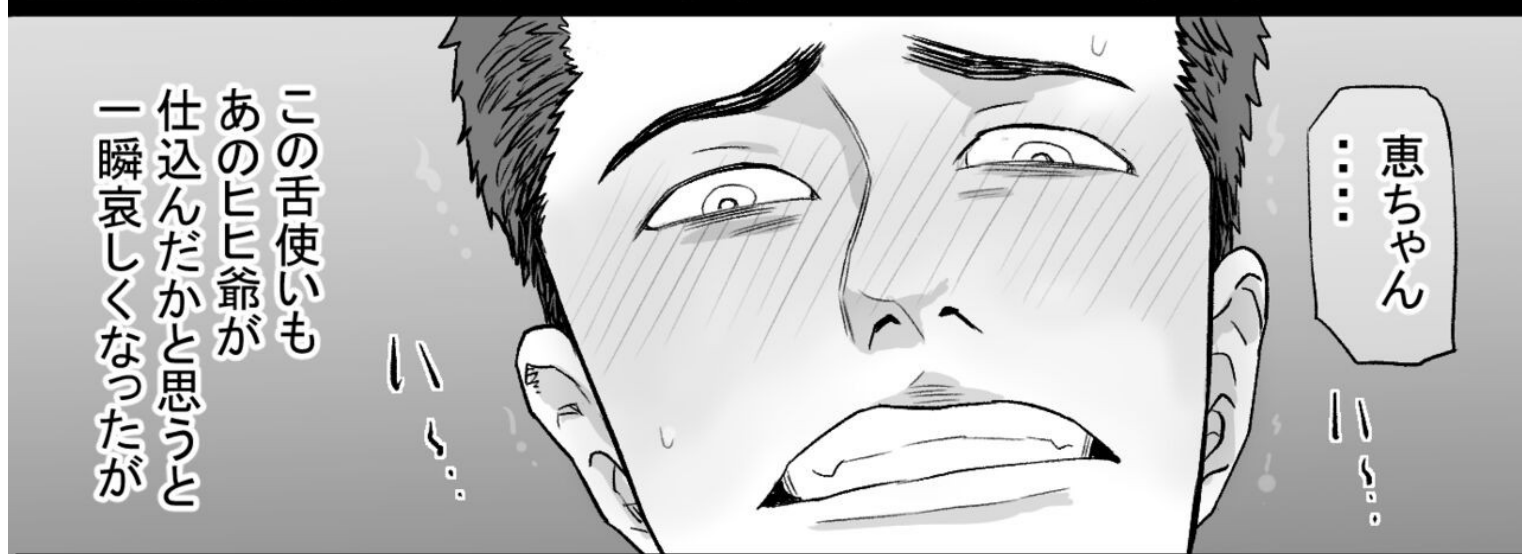
そう言って妻は
俺の寝間着を
脱がし



俺の乳首を
責め始めた

レロ...

ッ...



この舌使いも
あのヒビ爺が
仕込んだかと思うと
一瞬哀しくなったが

い...

恵ちゃん
...
...

い...



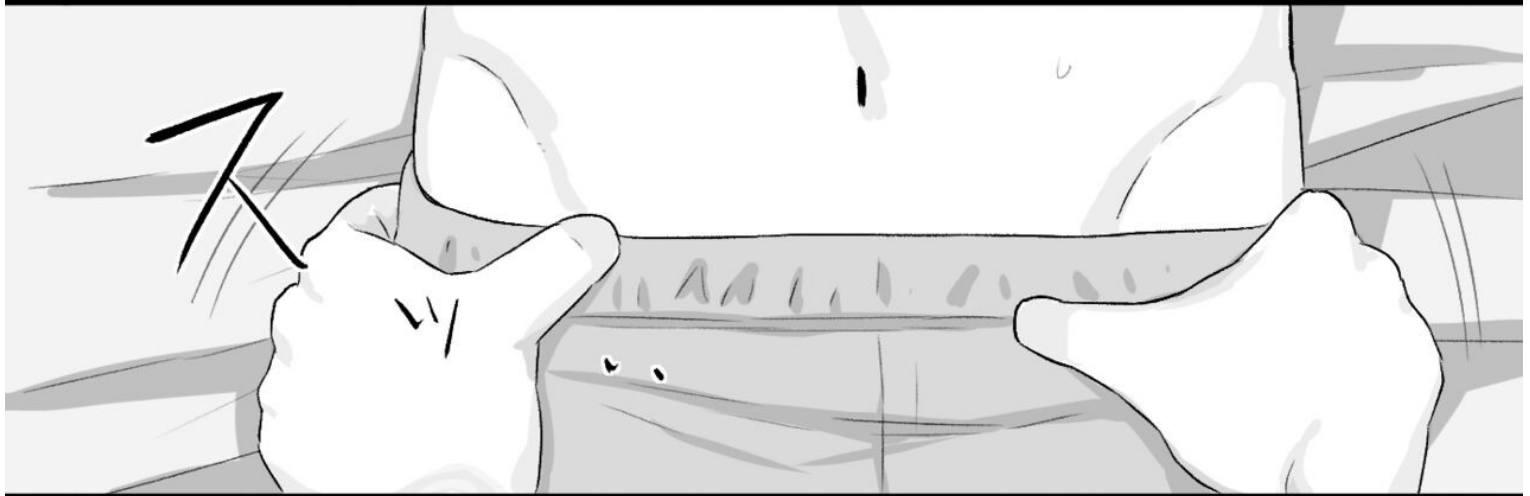
ゼ...

そんな事を
一瞬で忘れる位
その責めは
刺激的だった

クッ...!!

クッ...

クッ...



そして

彼女は心底嬉しそうに
俺のチンポを啜えこんだ





俺はプロも含め

色んな女性に
フェエラしてもらったが

グイグイ。



この数か月

ズルズル。



おそらく
あのヒビ爺に
仕込まれたであろう
この彼女のフェエラが

クッ...

ごめん...
もう出る...

ゼン...

スツゲ...



一番気持ち良かった

ゼン。

ズルズル。

ズルズル。

ズルズル。

ズルズル。

勢いあまって
思わず彼女の口内に
ブチ撒けてしまった

オ。。

うめん…
今
ティッシュを…

ゴクニ

しかし彼女は
その精液を

躊躇なく飲み込んで
しまった

ふふ…

一杯出たね♡

俺はそれを
嬉しいと思いつつも

ハハハハ

わ…

正直若干
引いてしまった
のだった

その後休憩を挟み

俺の希望で

人生初の
シックスナインをする

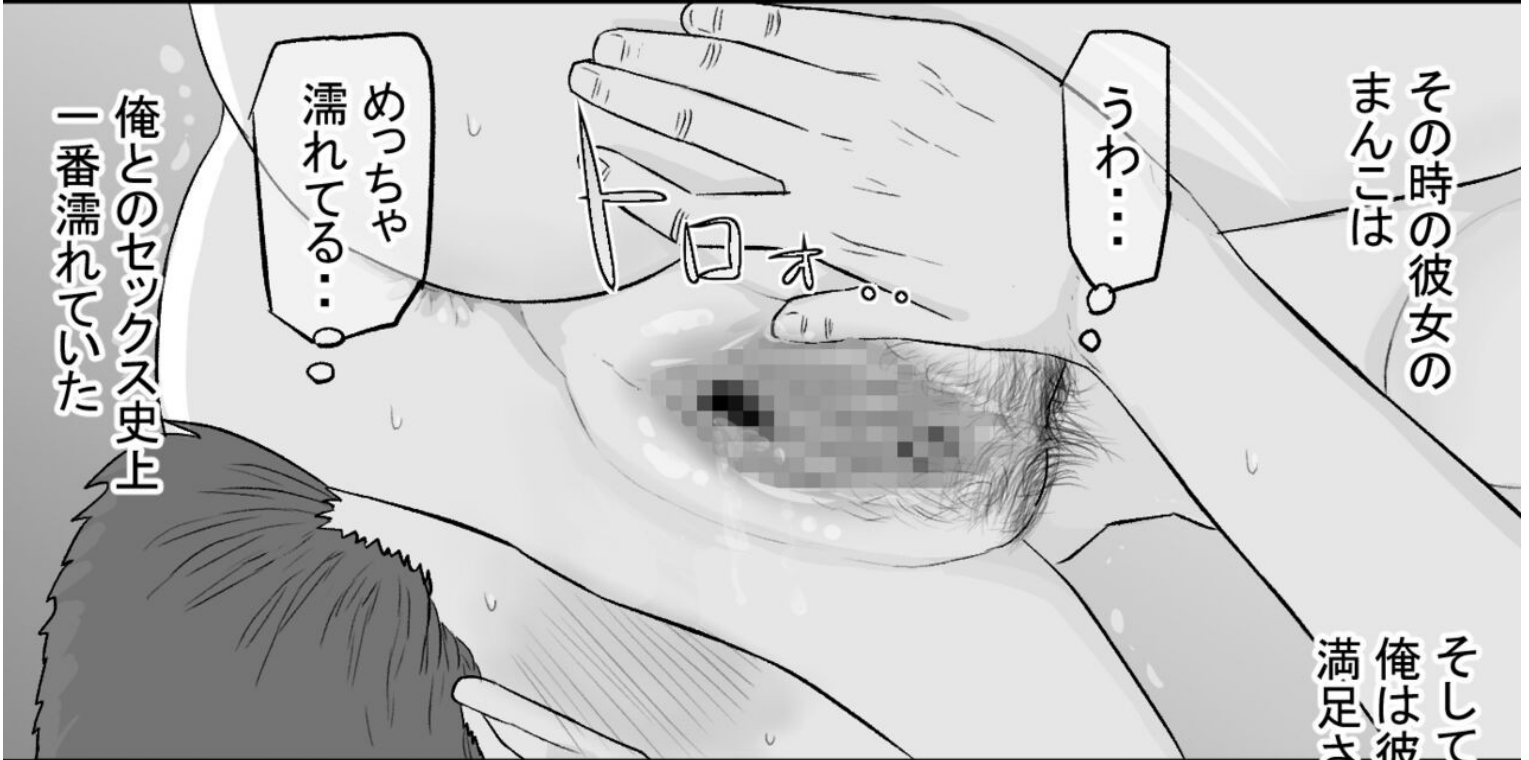


その時の彼女の
まんこは

うわ……

めっちゃ
濡れてる……

俺とのセックス史上
一番濡れていた



そして
俺は彼女を
満足させるべく

ガムシヤラに
クニニをした
のだった



それから
しばらく

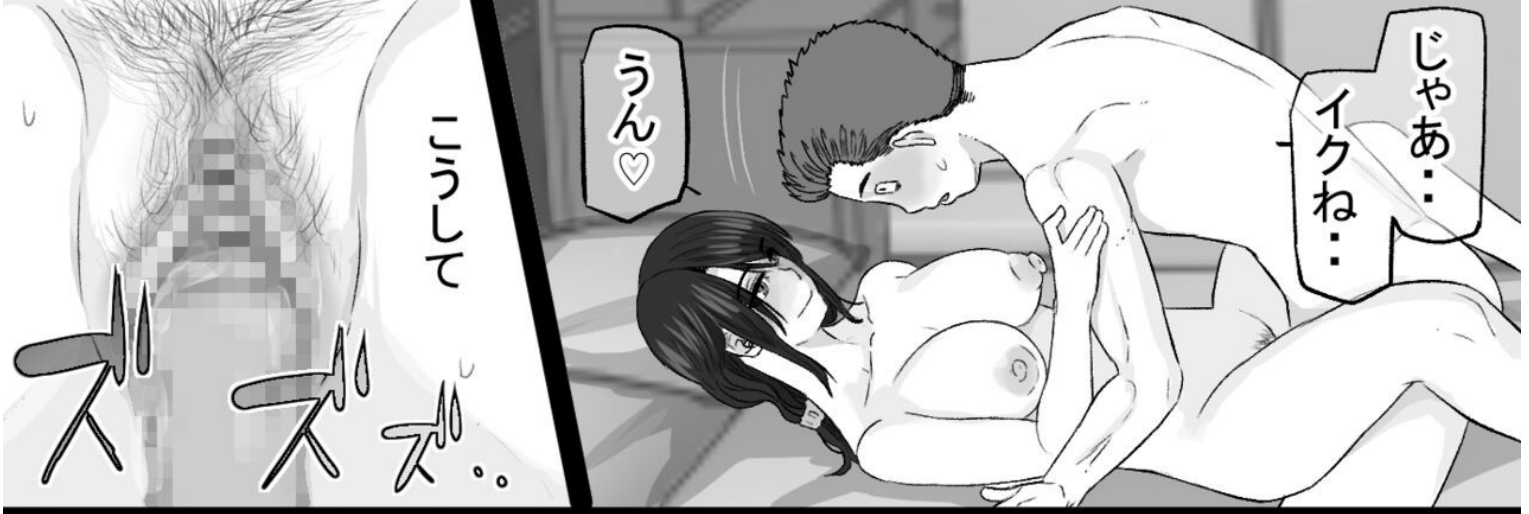
け……
恵ちゃん

本当に
良いの？

うん……

生でっころめ♡

ニ
ッ。



ん♡

じゃあ...
イクね...

ん♡



ん♡

せく...

俺達夫婦の初めての
コンドーム無し
生セックスが始まった



うお...!

おっ...

ん♡

ん♡

彼女の生の
膣内はとても
熱くトロけており
ゴム有りの時とは
まるで別物だった

にゅにゅ

あぁぁぁぁ

っ……!

俺は初めて
彼女に中出しした



しばらく
余韻を楽しんだ後

肉棒を引き抜くと

彼女の性器から
ドロリと
精液が溢れ出た

この時彼女は幸せそうに
俺に微笑みかけた

修クン……
頑張ったね♡

い……♡

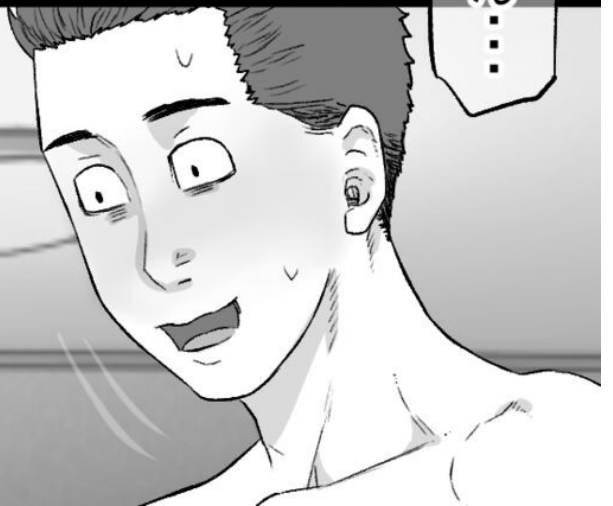
い……♡

すごい
気持ち良かったよ♡

恵ちゃん……

この時にはもう
不倫の事など
頭に残っておらず
彼女と関係を
改善できたことが
ただ嬉しかった

ちなみに離婚届は
彼女に見つかる前に
破いて捨てた



それから1か月——

俺たち夫婦は
今までの溝を埋める
かの様に

ほぼ毎日セックスを
していた

お互い愛し合い
間違いなく
幸せな結婚生活だった

——のだが
俺はある2つの不安が
どうしても頭から
離れなかった

一つは
これまでの
セックスで
彼女を一回も
絶頂させられ
なかった事

そして
もう一つは

妻の不倫相手である
ヒヒ爺の存在だ



一時期本気で
訴えようと考えたが
妻の立場を考えると

下手に大事にする
訳にはいかなかった
のでそのまま放置
していた

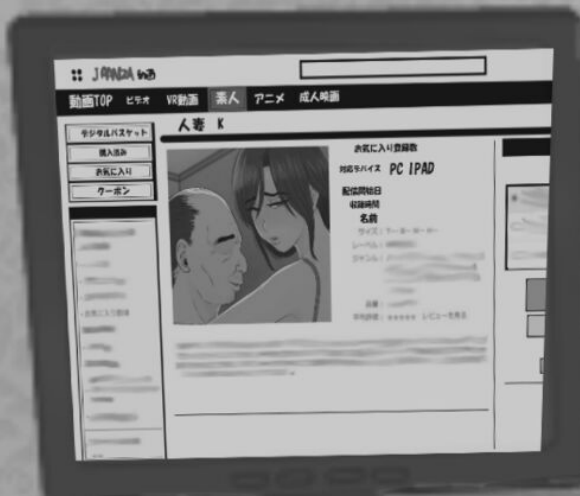
そんなある休日
妻が用事で家を空けたので
俺は自宅のパソコンで
嫌な予感を感じつつも



例の素人カップルの
エロ動画投稿サイトを
覗いてみた

すると
その予感通り

例のヒヒ爺が投稿した
であろう



妻の新作エロ動画が
アップされていた

やっぱり……

恵ちゃん…

動画内の彼女は
例の紫の派手な
下着を着けていた

最近どーしたの
ケーコちゃん？

グイ

…

誘っても全然
来てくれない
じゃーんw

旦那さんと
仲直りしたw？

おw

ハッ

やめて下さい
…

今日だって
来なくなかった
けど

あなたが
来なきゃ
関係を皆に
バラすって…



私が愛してるのは
本当に……
夫だけなんです……

それが今ようやく
関係が修復
できそうなんです

お願いします……
本当にこれっきり
してくれませんか……？

妻の涙ながらの
俺を思ってるの
懇願——

俺も思わず
泣きそうに
なってしまう

恵ちゃん……！

ヒヒ爺は彼女の涙も
全く意に介さず

ギィ.

!!

だが

ふん……

ま
一発やっつてから
考えるよ♡

その凶暴な
肉棒を
放り出した

赤
口
ニ

ホッラ
ケーコちゃんの
大好物

ツ……

久しぶりの
極大おちんぽ
だよ♡

ケーコちゃん

ボクのちんぽの
臭い嗅ぐと

エッチなスイッチ
入るもんね♡

やせ我慢
しなくていいよw

う……

やめ……

ほらw
もう目が
トロンとしてるw

っ……

違う……



それじゃ
...



下着脱いで
四つん這い
になってw

は...
い...
...

ダメ...

何も
考えられない
...



おほw
ケーコちゃんの
マンコ凄いいw
なってるじゃんw

...
...
これで...

良いですか...?



そっ...

彼女のアソコは
俺どセックスした
どんな時よりも

又

チ

オ

ヒヒ爺のチンポを
嗅いだだけの方が
ビチヨビチヨに
濡れていた

うひょろ♡
久々のケーコ
ちゃんのまんこ

トロトロで
めっちゃ
美味そう♡

せの

せの

せの

あゝ

じゃ
イタダキます♡

ズ
ズ
ズ

どお？
気持ちいい？w

ケーコちゃん
アナル舐めながら
まんこホジるの
好きだったでしょ？

せの

☆..♡

せの

グ
グ
グ

ありやまだ
膣内カタいね〜

旦那さんに
イカせてもらって
ないでしょ？

あ：あ：
修クンと
全然違う……！！

何でこんなに
私の弱い所
的確に当てられるの？

ゼン：♡

ほらあ？
どう？

旦那さんと
どっちがイイ？w

ゼン：♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

おw
中がヒクヒク
してきた♡

もうイキそう
かな？♡

あ：あ
ああ：

ダメ：
私：

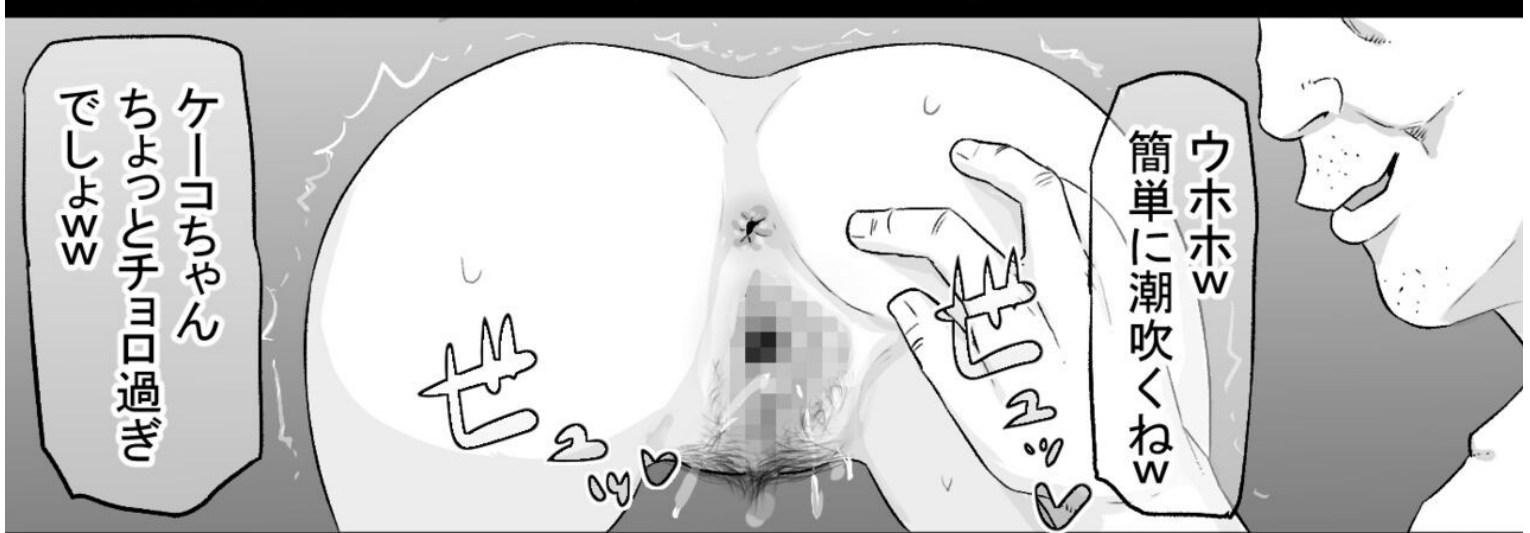
♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡



こうして彼女は
ヒヒ爺の手によって
簡単に絶頂した



ウホホW
簡単に潮吹くねW

ケーコちゃん
ちよつとチヨロ過ぎ
でしょW



俺が決して
できなかつた
最愛の妻の絶頂を

いとも簡単に
実行できるこの
60近い爺に
対して俺は

同じ男として
圧倒的な
敗北感を感じ
ゲロを吐きそう
になった

ッ……

次はケーコちゃん
の番ね♡

あ

ほら早くw
啜えて啜えてw

コ
カ

絶頂して更にスイッチの
入った彼女は

完全な雌の表情で
ヒヒ爺のチンポを
啜えた

は...あ...

すごいエッチな
臭い...

やっぱり
カズ君のと
全然違う...

パンパンに張って
脈打ってる...♡

この時の彼女の
貌は別人の様に
色気があった

そしてもう
挿入が我慢
できないのか

わっわっ

せゅん

♡♡♡
フッ

フッ

ズ
フ
フ

チンポをしゃぶりながら
自分のアソコを
イジリ始めた

ちゅん
ちゅん

すっごい
ガツツキぶり
だねw
ケーコちゃん
そんなに
溜まってたの？w

ひゅん

ダメ…
指…
止まらない…♡

ズ
フ
フ

ちゅん
ちゅん

彼女の手の動きは
快楽を求めるために♡

激しさを増し
やがて

あ…♡
あ…♡
ダメ…
もう♡

いいね♡
ちゃんと♡
飲んでねw

妻とヒト爺は
同時に果てた



ヒヒ爺の命令通り
彼女は跪き

その汚い
アナルを舐め
始めた



じゃ
次はボクの
アナルね♡

...



妻はアナルを丹念に
舐めると同時に
チンポもしごいた

あゝ
いいね♡

ケーコちゃんの
アナル舐めしごき
最高♡



嫉妬で気が狂いそうに
なりながらも

ギニ...

そのプレイを見て
人生最大級の
勃起が止まらなかった



ぐく...

当然そんな
マニアックな
事をさせて
無い俺は

それから
場面は変わり

じゃあ
ケーコちゃん

ハッ♡

いつもの
おねだり
やってみようか♡



修クン…
本当にゴメン
なさい…

ハッ♡

店長の…
ぶつといチンプを
…

私のおまんこ
にブチ込んで
下さい…♡

妻は蕩けた雌の貌で
アソコを拵げ
ヒビ爺のちんぽをねだった

ほあ…♡





はい…
はい…

あ…あ…
ダメ…

あの大きい
のが私の中に
…



じゃケーコちゃん
イクよ♡

ズズ



せり

そしてヒヒ爺は
そのぶつとい肉棒を
妻の中に一気にブチ込んだ

あーい♡
あーい♡
あーい♡

ヒヒ爺が肉棒を
突く度にアソコから
本気汁が吹き出た

ボクのちんぽと
旦那さんの
どっちがイイの??w

く...
う...

ゴメン...
修クン...
私っ...

この人のおちんちんに
逆らえないっ...:

は...

て...
店長の
ですっ...♡

その時ふと
知り合った
学生の時から

結婚して4年
経った今までの
妻の顔が
走馬灯のように
頭をよぎったが

やあ

そののどれにも
当てはまらない
この彼女の表情から

俺は何故か
目が離せなかった

おちんちん
スゴイ

あーあー
イクイク

この表情が
今までで一番
美しいと
感じてしまった

そして—
何故か俺は

ゴクッ

俺が見惚れている
間にもヒビ爺の
ピストンは激しさを
増していき

びびる

世の

うわー

じゃ
中に出すよっわ

は…♡
は…♡
は…♡

やがて

ん



あーん
あーん
あーん

あーん
あーん

カニ

男は容赦なく
俺の愛する妻に
中出しした



そして肉棒を引き抜くと
彼女の膣から

俺より遥かに濃い
精子がドロリと
溢れ出た



ズル
ズル
ズル

その後も当然
絶倫である
ヒビ爺のセックスは
続き





俺はヒヒ爺への
敗北感で
死にたくなり

あーあー
ダダダダ
ダダダダ

せのっ

イクン

今すぐ動画を消して
目を背けたくなるが

せのっ



心の奥底で
俺は——

世
の
こ
い
し

♡
♡
♡

彼女のこの痴態を
何度も見てみたい
——そう思ってしまった

お
し
し

♡
♡



続 染色妻

その後の地味巨乳妻清水恵子 4

夫婦円満編

離婚届

令和 1年 5月 1日 届出

(宛先)

氏名	氏名	氏名	氏名
生年月日	生年月日	生年月日	生年月日
住所	住所	住所	住所
職業	職業	職業	職業
婚姻届の氏名	婚姻届の氏名	婚姻届の氏名	婚姻届の氏名
婚姻届の生年月日	婚姻届の生年月日	婚姻届の生年月日	婚姻届の生年月日
婚姻届の住所	婚姻届の住所	婚姻届の住所	婚姻届の住所
婚姻届の職業	婚姻届の職業	婚姻届の職業	婚姻届の職業

記入の注意

鉛筆や消えやすいインクで書かないでください。
 婚姻届の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の名前を書いてください。
 年齢は1歳でさしつかえありません。
 そのほかに必要なもの 選択離婚のとき一調停調書の原本 和解離婚のとき一和解調書の原本
 裁判離婚のとき一審判書の原本と確定証明書 判決離婚のとき一判決書の原本と確定証明書

証人 (協議離婚のときだけ必要です)	
氏名	氏名
生年月日	生年月日
住所	住所
職業	職業

今年結婚4年目
 になる32歳の
 平凡な
 サラリーマンだ

俺の名前は
 清水修二



何で恵ちゃんが
 あんな爺と
 ……!?


何故なら
 嫁の不倫現場を
 ガッツリ目撃
 してしまった
 からである

クソッ……



ついでの間まで
 俺達夫婦の
 関係は円満
 だったのだが


俺はその日
 離婚届の前で
 真剣に
 悩んでいた




その時まで
嫁以外の経験が
無かった俺は

腹いせに風俗等で
色んな女を
抱いてみたが

全く満足感は無く
ただ虚無感ばかり
募って行くのだった



そんな感じで
嫁への愛情は段々と
薄れていき



ついには
夫婦の会話も
最近ほぼゼロに
なっていた



「ごちそうさま」

嫁と顔を合わすのも
流石にしんどくなって
きたので

スマホで別居用の
アパートを寝室で
検索していると

何……？

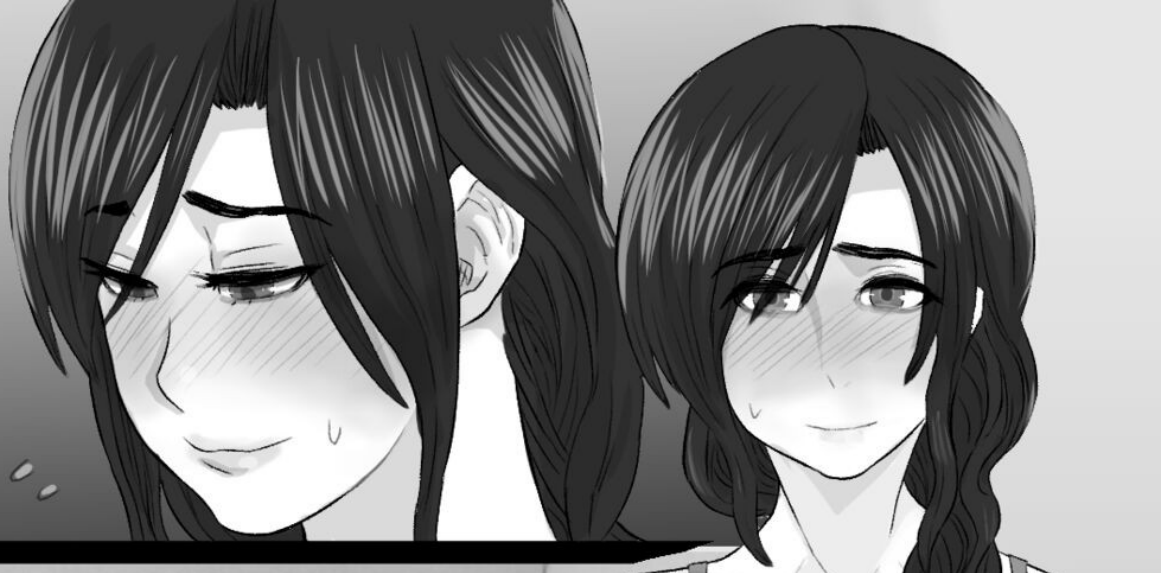
あの……
修くん……

久しぶりに
嫁が話しかけて
きたので

俺は少し
イラつきながら
振り返った
すると――

！？

彼女は見慣れない
紫の下着を着け
そこに立っていた



恵ちゃん
それ…？

は?!
え!?

その姿に心底
驚いた俺は

彼女と冷戦中
なのも忘れ
思わず
問いたでした



う…

修くん…

妻はそれに
答える間もなく
俺に近寄り



爺との不倫に対して
であろう弁明を
始めた

……ごめんなさい
……

修クンは全然
悪く無いの

悪いのは本当に
全部私……

離婚されても
全然仕方無いと
思ってる

ただ……
これだけは言わせて……

本当に私が——
私が愛してるのは……

修クン唯一人なの

それだけ
どうしても
伝えたくて……

……恵ちゃん

そして

俺たち夫婦は
数か月ぶりに
唇を重ねたのだった

チュ...

その瞳には
大粒の涙が
浮かんでいた

内心途惑いつつも
彼女の方を見ると

修クン...
ごめんね...
私こんな事しか
できなくて...

この下着も
喜んでもらえる
かなって...

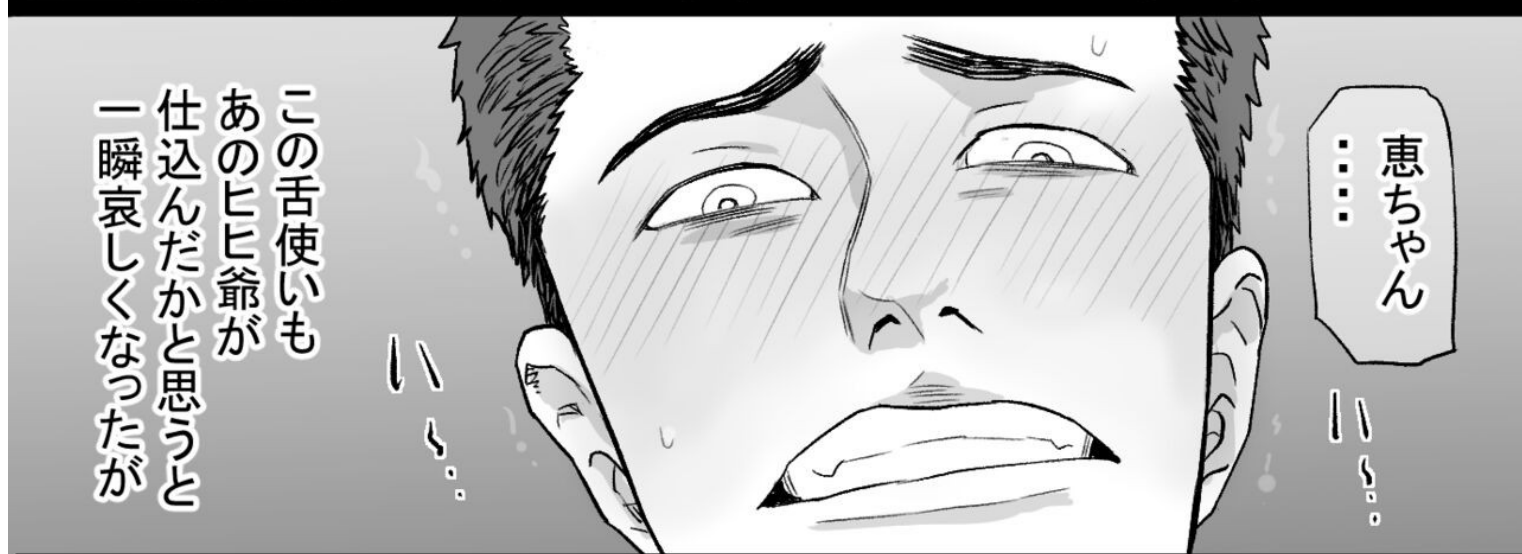
そう言って妻は
俺の寝間着を
脱がし



俺の乳首を
責め始めた

レロ...

ッ...



この舌使いも
あのヒビ爺が
仕込んだかと思うと
一瞬哀しくなったが

い...

恵ちゃん
...
...

い...



ゼ...

そんな事を
一瞬で忘れる位
その責めは
刺激的だった

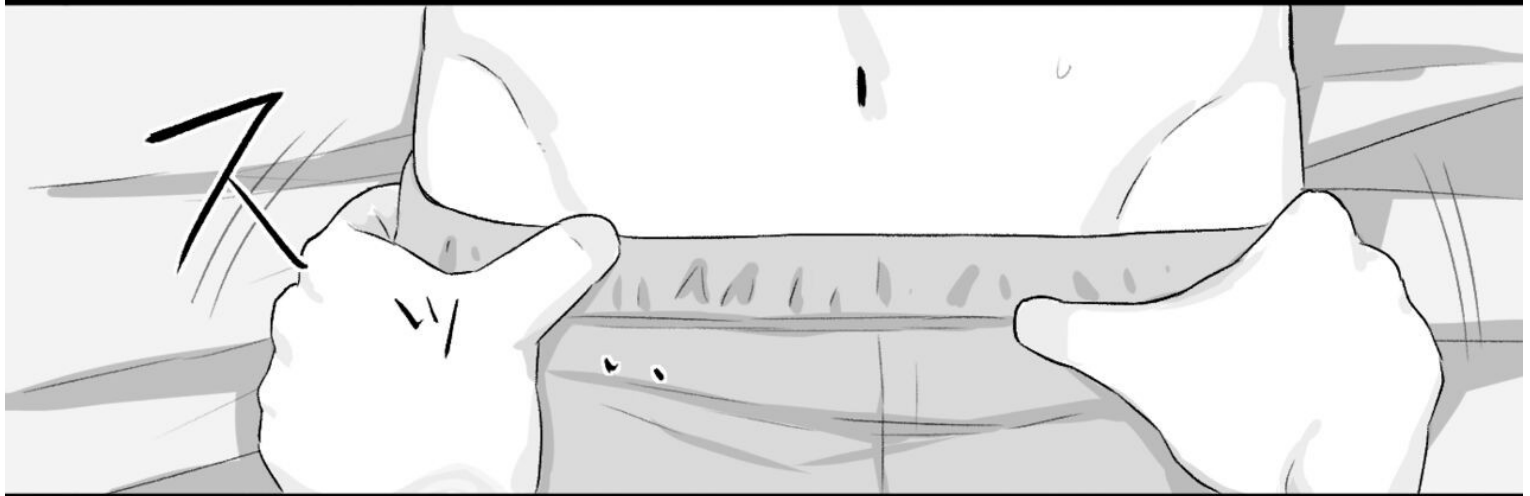
クッ...!!

ワッ...

ワッ...



当然俺の
ちんちんは
フル勃起する



すると彼女は
笑みを浮かべながら
ナニを取り出した

そして

彼女は心底嬉しそうに
俺のチンポを啜えこんだ





俺はプロも含め

色んな女性に
フェエラしてもらったが



この数か月



おそらく
あのヒビ爺に
仕込まれたであろう
この彼女のフェエラが

クッ...

ごめん...
もう出る...

せいの...

スツゲ...



一番気持ち良かった

せいの...

勢いあまって
思わず彼女の口内に
ブチ撒けてしまった

オ。。

うめん…
今
ティッシュを…

ゴクニ

しかし彼女は
その精液を

躊躇なく飲み込んで
しまった

ふふ…

一杯出たね♡

俺はそれを
嬉しいと思いつつも

ハハハハ

わ…

正直若干
引いてしまった
のだった

その後休憩を挟み

俺の希望で

人生初の
シックスナインをする



その時の彼女の
まんこは

うわ……

めっちゃ
濡れてる……

俺とのセックス史上
一番濡れていた



そして
俺は彼女を
満足させるべく

ガムシヤラに
クニニをした
のだった



それから
しばらく

け……
恵ちゃん

本当に
良いの？

うん……

生でっころめ♡

ニ
ッ。



うん♡

じゃあ...
イクね...

うん♡



んうっ♡

せく...

俺達夫婦の初めての
コンドーム無し
生セックスが始まった



うお...!!

おっ...

ん...

ん...

彼女の生の
膣内はとても
熱くトロけており
ゴム有りの時とは
まるで別物だった

このセックスで

俺が間違いなく
言える事は

これが俺の人生で
一番気持ちの良い行為である
と言っ事だ

ツ...

♡
♡
♡

恵ちゃん
っ...
俺っ...!!

...
...
...
良いよ♡

中で
出っ♡

にゅにゅ

あぁぁぁぁ

っ……!

俺は初めて
彼女に中出しした



しばらく
余韻を楽しんだ後

肉棒を引き抜くと

彼女の性器から
ドロリと
精液が溢れ出た

この時彼女は幸せそうに
俺に微笑みかけた

修クン……
頑張ったね♡

い……♡

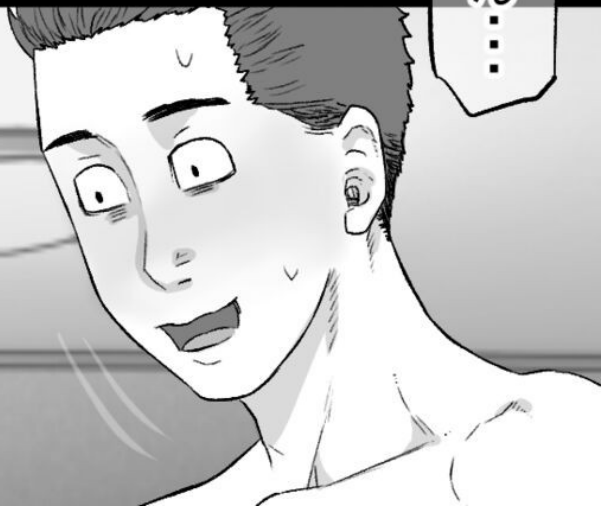
い……♡

恵ちゃん……

すごい
気持ち良かったよ♡

この時にはもう
不倫の事など
頭に残っておらず
彼女と関係を
改善できたことが
ただ嬉しかった

ちなみに離婚届は
彼女に見つかる前に
破いて捨てた



それから1か月——

俺たち夫婦は
今までの溝を埋める
かの様に

ほぼ毎日セックスを
していた

お互い愛し合い
間違いなく
幸せな結婚生活だった

——のだが
俺はある2つの不安が
どうしても頭から
離れなかった

一つは
これまでの
セックスで
彼女を一回も
絶頂させられ
なかった事

そして
もう一つは

妻の不倫相手である
ヒヒ爺の存在だ



一時期本気で
訴えようと思ったが
妻の立場を考えると

下手に大事にする
訳にはいかなかった
のでそのまま放置
していた

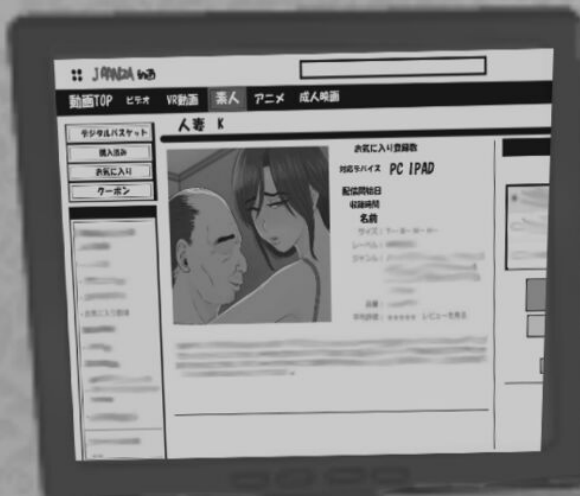
そんなある休日
妻が用事で家を空けたので
俺は自宅のパソコンで
嫌な予感を感じつつも



例の素人カップルの
エロ動画投稿サイトを
覗いてみた

すると
その予感通り

例のヒヒ爺が投稿した
であろう



妻の新作エロ動画が
アップされていた

やっぱり……

恵ちゃん…

動画内の彼女は
例の紫の派手な
下着を着けていた



最近どーしたの
ケーコちゃん？

グイ

…

誘っても全然
来てくれない
じゃーんw



旦那さんと
仲直りしたw？

おw

ハッ

今日だって
来たくなかった
けど

やめて下さい
…

あなたが
来なきゃ
関係を皆に
バラすって…



私が愛してるのは
本当に……
夫だけなんです……

それが今ようやく
関係が修復
できそうなんです

お願いします……
本当にこれっきり
してくれませんか……？

妻の涙ながらの
俺を思ってるの
懇願——

俺も思わず
泣きそうに
なってしまう

恵ちゃん……！

ヒヒ爺は彼女の涙も
全く意に介さず
ギィ。

だ
が
ふん……

ま
一発やっつてから
考えるよ♡

その凶暴な
肉棒を
放り出した

ホッラ
ケーコちゃんの
大好物

ツ……

久しぶりの
極大おちんぽ
だよ♡

ケーコちゃん

ボクのちんぽの
臭い嗅ぐと

う……

エッチなスイッチ
入るもんね♡

やせ我慢
しなくていいよw

やめっ……

ほらw
もう目が
トロンとしてるw

っ……

違っ……



それじゃ
...



下着脱いで
四つん這い
になってw

は...
い...
...

ダメ...

何も
考えられない
...



...
...
これで...

良いですか...?

おほw
ケーコちゃんの
マンコ凄いいw
なってるじゃんw



彼女のアソコは
俺どセックスした
どんな時よりも

そっ...

ヒヒ爺のチンポを
嗅いだだけの方が
ビチヨビチヨに
濡れていた

うひょろ♡
久々のケーコ
ちゃんのまんこ

トロトロで
めっちゃ
美味そう♡

せのっ

せのっ

せのっ

あゝ

じゃ
イタダキます♡

ズ
ズ
ズ

どお？
気持ちいい？w

ケーコちゃん
アナル舐めながら
まんこホジるの
好きだったでしょ？

せのっ

☆..♡

せのっ

何でこんなに私の弱い所的確に当てられるの？

ゼン：♡

あ：あ：
修クンと全然違う……！

ありやまだ膣内力太いね〜
旦那さんにイカせてもらってないでしょ？



ゼン：♡

ズッ
ズッ
ズッ

旦那さんとどっちがイイ？w

ほらあ？
どう？



あ：あ：
ああ：
ダメ：
私：

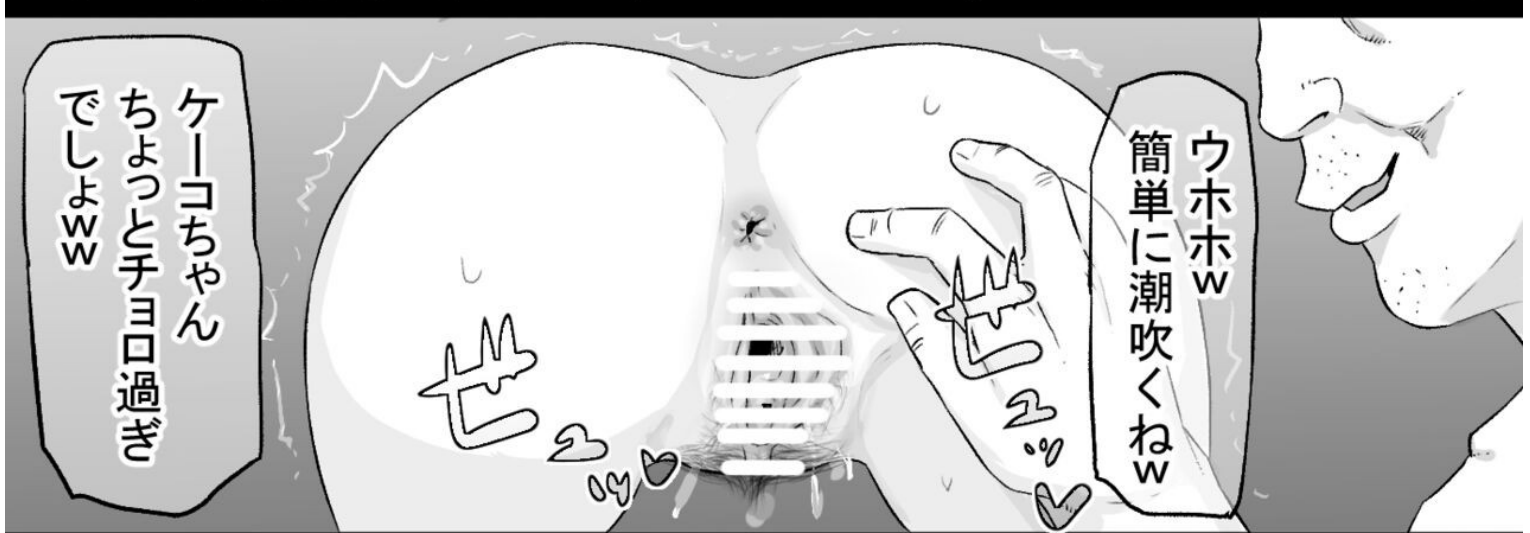


もうイキそうかな？♡

おw
中がヒクヒクしてきた♡



こうして彼女は
ヒヒ爺の手によって
簡単に絶頂した



ウホホw
簡単に潮吹くねw

ケーコちゃん
ちよつとチヨロ過ぎ
でしょww



俺が決して
できなかつた
最愛の妻の絶頂を

いとも簡単に
実行できるこの
60近い爺に
対して俺は

ッ...

同じ男として
圧倒的な
敗北感を感じ
ゲロを吐きそう
になった

次はケーコちゃん
の番ね♡

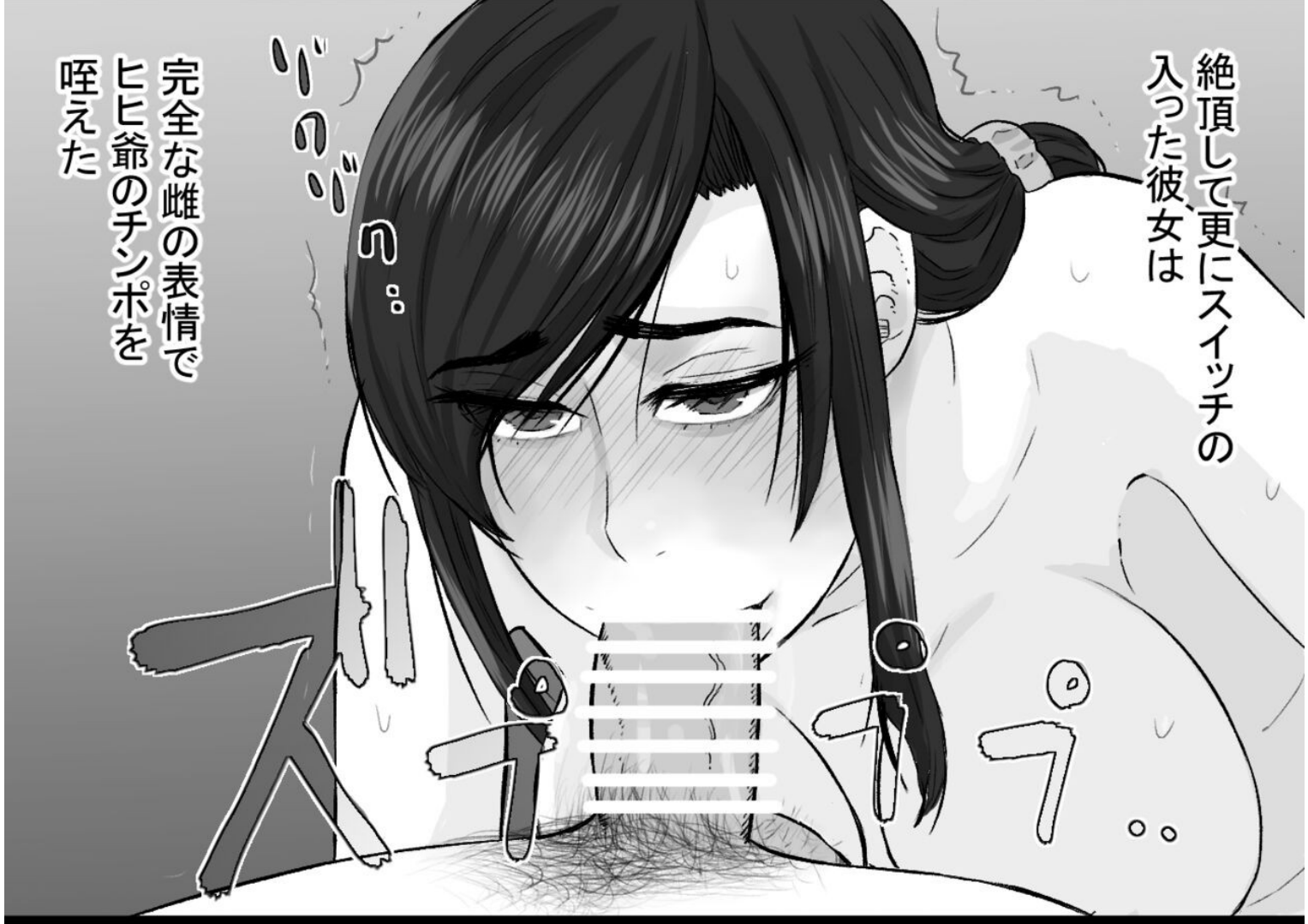
あ

ほら早くw
啜えて啜えてw



絶頂して更にスイッチの
入った彼女は

完全な雌の表情で
ヒヒ爺のチンポを
啜えた



は...あ...

すごいエッチな
臭い...



やっぱり
カズ君のと
全然違う...

パンパンに張って
脈打ってる...♡



この時の彼女の
貌は別人の様に
色気があった

そしてもう
挿入が我慢
できないのか

わこ...
せつ...

チンポをしゃぶりながら
自分のアソコを
イジリ始めた

ちゅわ
ちゅわ

すっごい
ガツツキぶり
だねw
ケーコちゃん
そんなに
溜まってたの？w

ダメ...
指...
止まらない...♡

わんわん

ズ
びび
び

彼女の手の動きは
快楽を求めるために♡

激しさを増し
やがて

ダメ：
もう♡

いいね♡
ちゃんと
飲んでねw

妻とヒト爺は
同時に果てた



ヒヒ爺の命令通り
彼女は跪き

その汚い
アナルを舐め
始めた



じゃ
次はボクの
アナルね♡

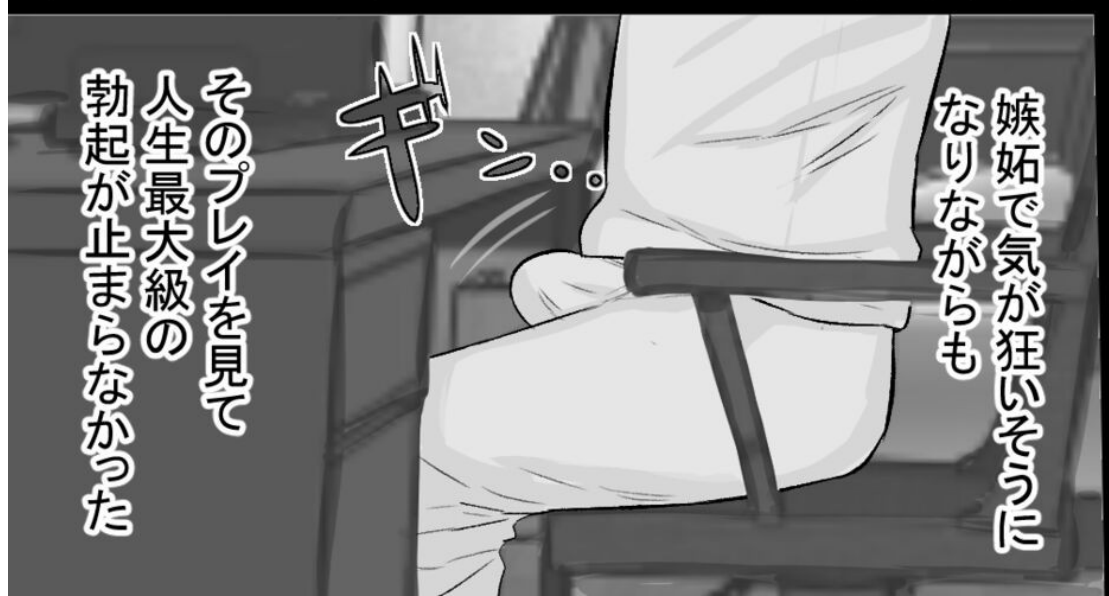
...



妻はアナルを丹念に
舐めると同時に
チンポもしごいた

あゝ
いいね♡

ケーコちゃんの
アナル舐めしごき
最高♡



嫉妬で気が狂いそうに
なりながらも

ギニ...

そのプレイを見て
人生最大級の
勃起が止まらなかった



ぐく...

当然そんな
マニアックな
事をさせて
無い俺は

それから
場面は変わり

じゃあ
ケーコちゃん

ハッ♡

いつもの
おねだり
やってみようか♡



修クン…
本当にゴメン
なさい…

ハッ♡

店長の…
ぶつといチンポを
…

私のおまんこ
にブチ込んで
下さい…♡

妻は蕩けた雌の貌で
アソコを拡張
ヒビ爺のちんぽをねだった



はぁ…♡

ハッ♡



はは…
はい…

あ…あ…
ダメ…

あの大きい
のが私の中に
…



じゃケーコちゃん
イクよ♡

ズ
ズ



せり

あーいっ

そしてヒヒ爺は
そのぶつとい肉棒を
妻の中に一気にブチ込んだ

ヒヒ爺が肉棒を
突く度にアソコから
本気汁が吹き出た

ボクのちんぽと
旦那さんの
どっちがイイの？w

く...
う...
...

ゴメン...
修クン...
私っ...

この人のおちんちんに
逆らえないっ...
ハ...♡

て...
店長の
ですっ♡
♡

その時ふと
知り合った
学生の時から

結婚して4年
経った今までの
妻の顔が
走馬灯のように
頭をよぎったが

やあ

そののどれにも
当てはまらない
この彼女の表情から

俺は何故か
目が離せなかった

おちんちん
スゴイ

あーあー
イクイク

この表情が
今までで一番
美しいと
感じてしまった

そして—
何故か俺は

ゴクッ

俺が見惚れている
間にもヒビ爺の
ピストンは激しさを
増していき

びびる

世界の

うわー

じゃ
中に出すよっわ

は…♡
は…♡
は…♡

やがて

男は容赦なく
俺の愛する妻に
中出しした

あーあー
あーあー
あーあー

そして肉棒を引き抜くと
彼女の膣から

俺より遥かに濃い
精子がドロリと
溢れ出た



その後も当然
絶倫である
ヒビ爺のセックスは
続き





ああ
あ
あ

ああ
あ
あ



はあ
あ
あ
あ
あ

何度も妻を
絶頂させられる
度に

俺はヒヒ爺への
敗北感で
死にたくなり

ダダダ
ダダダ
ダダダ

あああ
あああ
あああ

せの
せの
せの



キキキ
キキキ
キキキ

カ
カ
カ

ビ
ビ
ビ

イ
ク
ン

せの
せの
せの

今すぐ動画を消して
目を背けたくなるが

心の奥底で
俺は——

世
の
こ
い
し

♡
♡
♡

彼女のこの痴態を
何度も見てみたい
——そう思ってしまった

世
の
こ
い
し

♡
♡
♡

金珠狼



続 染色妻

その後の地味巨乳妻清水恵子 4

夫婦円満編

離婚届

分科 1年 2月 1日 提出

(祖先)

氏名	清水 修二	性別	男	生年月日	昭和 40年 10月 10日	住所	東京都 港区 赤坂 1-1-1
氏名	清水 美穂	性別	女	生年月日	昭和 42年 5月 15日	住所	東京都 港区 赤坂 1-1-1
婚姻届の日	昭和 44年 10月 10日	離婚届の日	昭和 48年 10月 10日	理由	夫婦別居が継続し、協議離婚が成立したため	協議離婚の場合、協議内容(別居期間、財産分与、養育費等)を記載する	協議離婚の場合、協議内容(別居期間、財産分与、養育費等)を記載する

記入の注意

離婚届は夫婦二人で提出し、提出後、夫婦双方の同意が得られなければならない。協議離婚の場合、協議内容(別居期間、財産分与、養育費等)を記載する。協議離婚の場合、協議内容(別居期間、財産分与、養育費等)を記載する。

今年結婚4年目
になる32歳の
平凡な
サラリーマンだ

俺の名前は
清水 修二


ついこの間まで
俺達夫婦の
関係は円満
だったのだが

何故なら
嫁の不倫現場を
ガッツリ目撃
してしまった
からである


俺はその日
離婚届の前で
真剣に
悩んでいた

クンッ……


何で恵ちゃんが
あんな爺と
……？




その時まで
嫁以外の経験が
無かった俺は




腹いせに風俗等で
色んな女を
抱いてみたが



全く満足感は無く
ただ虚無感ばかり
募って行くのだった



そんな感じで
嫁への愛情は段々と
薄れていき



ついには
夫婦の会話も
最近ほぼゼロに
なっていた



スマホで別居用の
アパートを寝室で
検索していると



嫁と顔を合わすのも
流石にしんどくなって
きたので

何……？



久しぶりに
嫁が話しかけて
きたので

俺は少し
イラつきながら
振り返った
すると——

あの……
修くん……

!!?

彼女は見慣れない
紫の下着を着け
そこに立っていた



恵ちゃん
それ…？

は?!
え!?!

その姿に心底
驚いた俺は

彼女と冷戦中
なのも忘れ
思わず
問いたました



う…

修くん…

妻はそれに
答える間もなく
俺に近寄り



爺との不倫に対して
であろう弁明を
始めた

……ごめんなさい
……

修クンは全然
悪く無いの

悪いのは本当に
全部私……

離婚されても
全然仕方無いと
思ってる

ただ……
これだけは言わせて……

本当に私が——
私が愛してるのは……

修クン唯一人なの

それだけ
どうしても
伝えたくて……

……恵ちゃん

そして

俺たち夫婦は
数か月ぶりに
唇を重ねたのだった

チュ...

その瞳には
大粒の涙が
浮かんでいた

内心途惑いつつも
彼女の方を見ると

修クン...
ごめんね...
私こんな事しか
できなくて...

この下着も
喜んでもらえる
かなって...

そう言って妻は
俺の寝間着を
脱がし



俺の乳首を
責め始めた

レロ..

ツ...



この舌使いも
あのヒビ爺が
仕込んだかと思うと
一瞬哀しくなったが

い...

恵ちゃん
...
...

い...



クッ...!!

クッ..

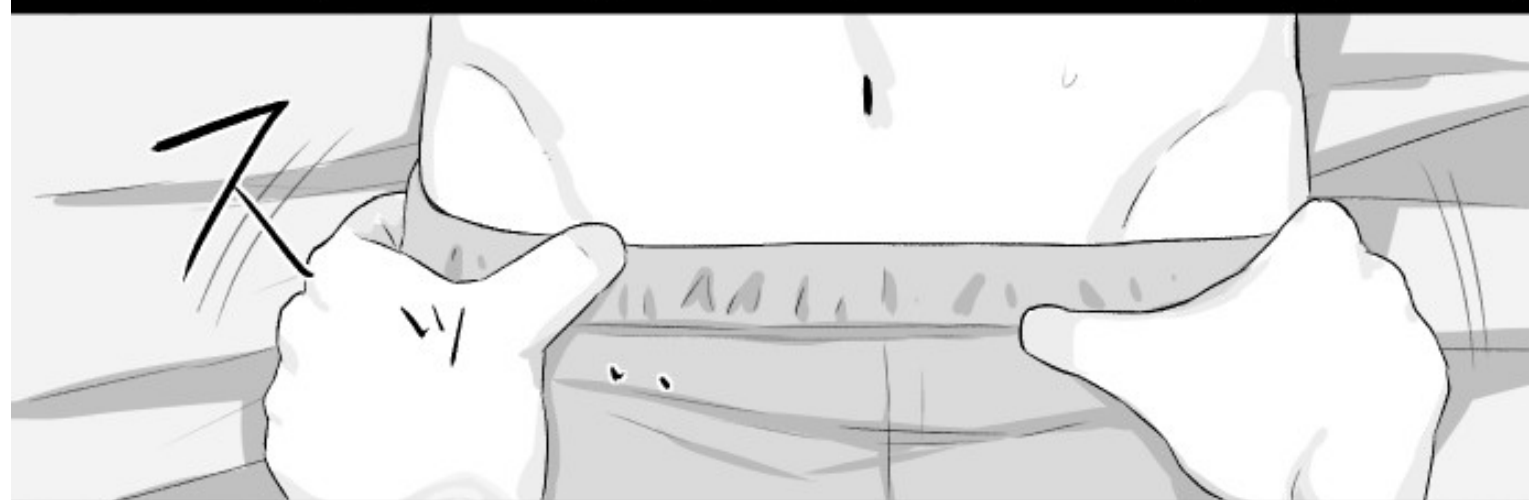
クッ..

ゼン...

そんな事を
一瞬で忘れる位
その責めは
刺激的だった



当然俺の
ちんちんは
フル勃起する



すると彼女は
笑みを浮かべながら
ナニを取り出した

そして

彼女は心底嬉しそうに
俺のチンポを啜えこんだ





勢いあまって
思わず彼女の口内に
ブチ撒けてしまった

オ。。

うめん…
今
ティッシュを…

ゴクニ

しかし彼女は
その精液を

躊躇なく飲み込んで
しまった

ふふ…

一杯出たね♡

俺はそれを
嬉しいと思いつつも

ハハハハ

わ…

正直若干
引いてしまった
のだった

その後休憩を挟み

俺の希望で

人生初の
シックスナインをする



その時の彼女の
まんこは

うわ……

めっちゃ
濡れてる……

俺とのセックス史上
一番濡れていた



そして
俺は彼女を
満足させるべく

ガムシヤラに
クニニをした
のだった



それから
しばらく

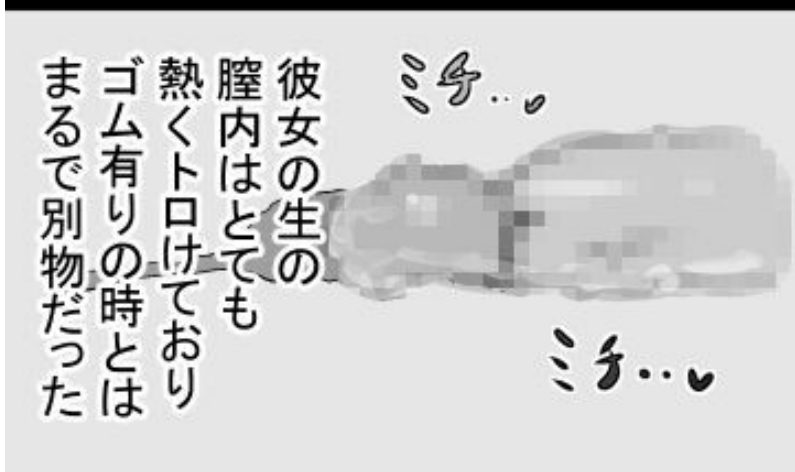
け……
恵ちゃん

本当に
良いの？

うん……

生でっころめ♡

ニ
ッ。



彼女の生の
膣内はとても
熱くトロけており
ゴム有りの時とは
まるで別物だった

このセックスで

俺が間違いなく
言える事は

これが俺の人生で
一番気持ちの良い行為である
と言う事だ

ツ……

♡……♡

中で
出して♡

……
良いよ♡

恵ちゃん
……
俺……!!

ははは

俺は初めて
彼女に中出しした

っ……!

あ……



しばらく
余韻を楽しんだ後

肉棒を引き抜くと

彼女の性器から
ドロリと
精液が溢れ出た

この時彼女は幸せそうに
俺に微笑みかけた

修クン……
頑張ったね♡

恵ちゃん……

すごい
気持ち良かったよ♡

この時にはもう
不倫の事など
頭に残っておらず
彼女と関係を
改善できたことが
ただ嬉しかった

ちなみに離婚届は
彼女に見つかる前に
破いて捨てた

それから1か月——

ほぼ毎日セックスを
していた

俺たち夫婦は
今までの溝を埋める
かの様に

お互い愛し合い
間違いなく
幸せな結婚生活だった

——のだが
俺はある2つの不安が
どうしても頭から
離れなかった

一つは
これまでの
セックスで
彼女を一回も
絶頂させられ
なかった事

そして
もう一つは

妻の不倫相手である
ヒビ爺の存在だ



一時期本気で
訴えようと思ったが
妻の立場を考えると

下手に大事にする
訳にはいかなかった
のでそのまま放置
していた

そんなある休日
妻が用事で家を空けたので
俺は自宅のパソコンで
嫌な予感を感じつつも



例の素人カップルの
エロ動画投稿サイトを
覗いてみた

すると
その予感通り

やっぱり……

例のヒビ爺が投稿した
であろう



妻の新作エロ動画が
アップされていた

恵ちゃん…

動画内の彼女は
例の紫の派手な
下着を着けていた

最近どーしたの
ケーコちゃん？

グイ

…

誘っても全然
来てくれない
じゃーんw

旦那さんと
仲直りしたw？

おw

ハッ

やめて下さい
…

今日だって
来たくなかった
けど

あなたが
来なきゃ
関係を皆に
バラすって…



私が愛してるのは
本当に……
夫だけなんです……

それが今ようやく
関係が修復
できそうなんです

お願いします……
本当にこれっきり
してくれませんか……？

妻の涙ながらの
俺を思ってるの
懇願——

俺も思わず
泣きそうに
なってしまう

恵ちゃん……！

ヒヒ爺は彼女の涙も
全く意に介さず
ギン。

だが

ふん……

ま
一発やっつてから
考えるよ♡

その凶暴な
肉棒を
放り出した

ホッラ
ケーコちゃんの
大好物

ツ……

久しぶりの
極大おちんぽ
だよ♡

ケーコちゃん

ボクのちんぽの
臭い嗅ぐと

エッチなスイッチ
入るもんね♡

やせ我慢
しなくていいよw

ちめっ……

う……

ほらw
もう目が
トロ〜してるw

っ……

違っ……



それじゃ
...



下着脱いで
四つん這い
になってw

は...
い...
...

ダメ...

何も
考えられない
...

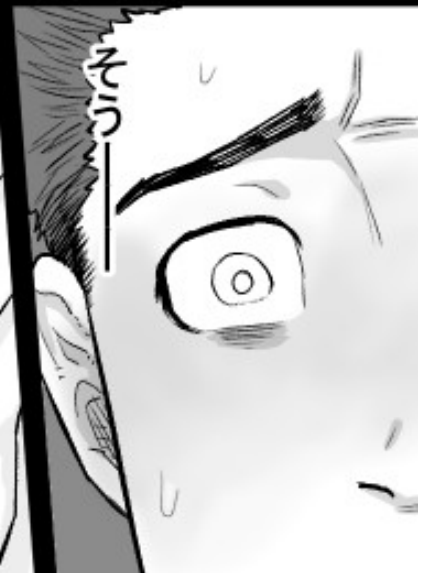


おほw
ケーコちゃんの
マンコ凄いいw
なってるじゃんw



...
...
これで...

良いですか...?



そっ...

彼女のアソコは
俺どセックスした
どんな時よりも



ヒヒ爺のチンポを
嗅いだだけの方が
ビチヨビチヨに
濡れていた

又

チヨオ

うひょろ♡
久々のケーコ
ちゃんのまんこ

トロトロで
めっちゃ
美味そう♡

せつ

せつ

せつ

あゝ

じゃ
イタダキます♡

せつ

どお？
気持ちいい？w

ケーコちゃん
アナル舐めながら
まんこホジるの
好きだったでしょ？

せつ

せつ

せつ

ありやまだ
膣内カタいね〜

旦那さんに
イカせてもらって
ないでしょ？

あ：あ：
修クンと
全然違う…!!

何でこんなに
私の弱い所
的確に当てられるの？

ゼン：♡

ほらあ？
どう？

旦那さんと
どっちがイイ？w

ゼン：♡

♡
♡
♡
♡

あ：あ
ああ：

ダメ：
私：

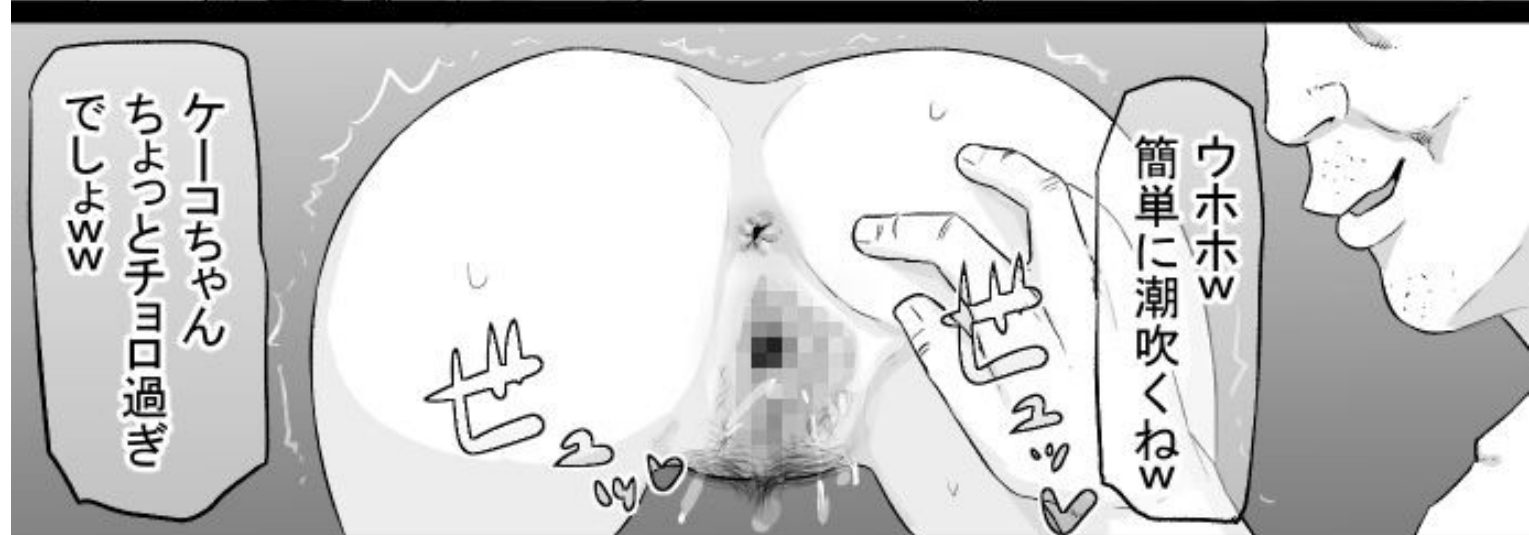
もうイキそう
かな？♡

おw
中がピクピク
してきた♡

♡
♡
♡
♡



こうして彼女は
ヒヒ爺の手によって
簡単に絶頂した



ウホホw
簡単に潮吹くねw

ケーコちゃん
ちよつとチヨロ過ぎ
でしょww



俺が決して
できなかつた
最愛の妻の絶頂を

いとも簡単に
実行できるこの
60近い爺に
対して俺は

同じ男として
圧倒的な
敗北感を感じ
ゲロを吐きそう
になった

次はケーコちゃん
の番ね♡

あ

ほら早くw
啜えて啜えてw

ゴハ

絶頂して更にスイッチの
入った彼女は

完全な雌の表情で
ヒヒ爺のチンポを
啜えた

は...あ...

すごいエッチな
臭い...

やっぱり
カズ君のと
全然違う...

パンパンに張って
脈打ってる...♡

この時の彼女の
貌は別人の様に
色気があった



そしてもう
挿入が我慢
できないのか



チンポをしゃぶりながら
自分のアソコを
イジリ始めた

すっごい
ガツツキぶり
だねw
ケーコちゃん
そんなに
溜まってたの？w



ダメ……
指……
止まらない……♡

ズ
グググ

彼女の手の動きは
快楽を求めるために♡

激しさを増し
やがて

あ…♡
あ…♡
ダメ…
もう♡

いいね♡
ちゃんと
飲んでねw

妻とヒト爺は
同時に果てた



ヒヒ爺の命令通り
彼女は跪き

その汚い
アナルを舐め
始めた



じゃ
次はボクの
アナルね♡

...



妻はアナルを丹念に
舐めると同時に
チンポもしごいた

あゝ
いいね♡

ケーコちゃんの
アナル舐めしごき
最高♡



嫉妬で気が狂いそうに
なりながらも

ぐく...

当然そんな
マニアックな
事をさせて
無い俺は

そのプレイを見て
人生最大級の
勃起が止まらなかつた

それから
場面は変わり

じゃあ
ケーコちゃん

ハッ♡

いつもの
おねだり
やってみようか♡



修クン…
本当にゴメン
なさい…

店長の…
ぶつといチンポを
…

ハッ♡

私のおまんこ
にブチ込んで
下さい…♡

妻は蕩けた雌の貌で
アソコを拡張
ヒビ爺のちんぽをねだった

ぽあ♡





はは…
はい…

あ…あ…
ダメ…

あの大きい
のが私の中に
…



ズズ

じゃケーコちゃん
イクよ♡



せり

そしてトト爺は
そのぶつとい肉棒を
妻の中に一気にブチ込んだ

あー
あー
あー

ヒヒ爺が肉棒を
突く度にアソコから
本気汁が吹き出た

ボクのちんぽと
旦那さんの
どっちがイイの？w

く…
う…

ゴメン…
修クン…
私っ…

この人のおちんちんに
逆らえないっ…

は…

て…
店長の
ですっ…

その時ふと
知り合った
学生の時から

結婚して4年
経った今までの
妻の顔が
走馬灯のように
頭をよぎったが

やあ

そののどれにも
当てはまらない
この彼女の表情から

俺は何故か
目が離せなかった

おちんちん
スゴイ

そして—
何故か俺は

この表情が
今までで一番
美しいと
感じてしまった

あーあー
イクイク

ゴク

俺が見惚れている
間にもヒビ爺の
ピストンは激しさを
増していき

びびん

せろっ

うん

中に出すよっ
やがて

は…♡
は…♡
は…♡

やがて

ん



男は容赦なく
俺の愛する妻に
中出しした



そして肉棒を引き抜くと
彼女の膣から

俺より遥かに濃い
精子がドロリと
溢れ出た



その後も当然
絶倫である
ヒヒ爺のセックスは
続き



何度も妻を
絶頂させられる
度に



俺はヒビ爺への
敗北感で
死にたくなり

ダダダ
あーあー

せーの

イク

今すぐ動画を消して
目を背けたくなるが

せーの



心の奥底で
俺は——

世
の
こ
ろ

♡
♡
♡

彼女のこの痴態を
何度も見てみたい
——そう思ってしまった

キ

♡

金珠狼

続 染色妻

その後の地味巨乳妻清水恵子 4

夫婦円満編

離婚届

分科 1年 2月 1日 提出

(祖先)

氏名	清水 修二	性別	男	生年月日	昭和 32年 10月 10日	住所	東京都 港区 赤坂 1-1-1
氏名	清水 美穂	性別	女	生年月日	昭和 30年 5月 5日	住所	東京都 港区 赤坂 1-1-1
婚姻届の日	昭和 36年 10月 10日	離婚届の日	昭和 40年 10月 10日	理由	夫婦別居が長年続いたため	備考	

記入の注意

離婚届は夫婦二人で提出してください。
 提出された届書には、印紙の貼付が必要となります。
 提出された届書は、提出後1週間以内に取り扱われます。
 提出された届書は、提出後1週間以内に取り扱われます。
 提出された届書は、提出後1週間以内に取り扱われます。

今年結婚4年目
 になる32歳の
 平凡な
 サラリーマンだ

俺の名前は
 清水 修二



何で恵ちゃんが
 あんな爺と
 ……?


何故なら
 嫁の不倫現場を
 ガッツリ目撃
 してしまっ
 からである

クソッ……




ついこの間まで
 俺達夫婦の
 関係は円満
 だったのだが


俺はその日
 離婚届の前で
 真剣に
 悩んでいた




その時まで
嫁以外の経験が
無かった俺は




腹いせに風俗等で
色んな女を
抱いてみたが



全く満足感は無く
ただ虚無感ばかり
募って行くのだった



そんな感じで
嫁への愛情は段々と
薄れていき



ついには
夫婦の会話も
最近ほぼゼロに
なっていた



彼女は見慣れない
紫の下着を着け
そこに立っていた

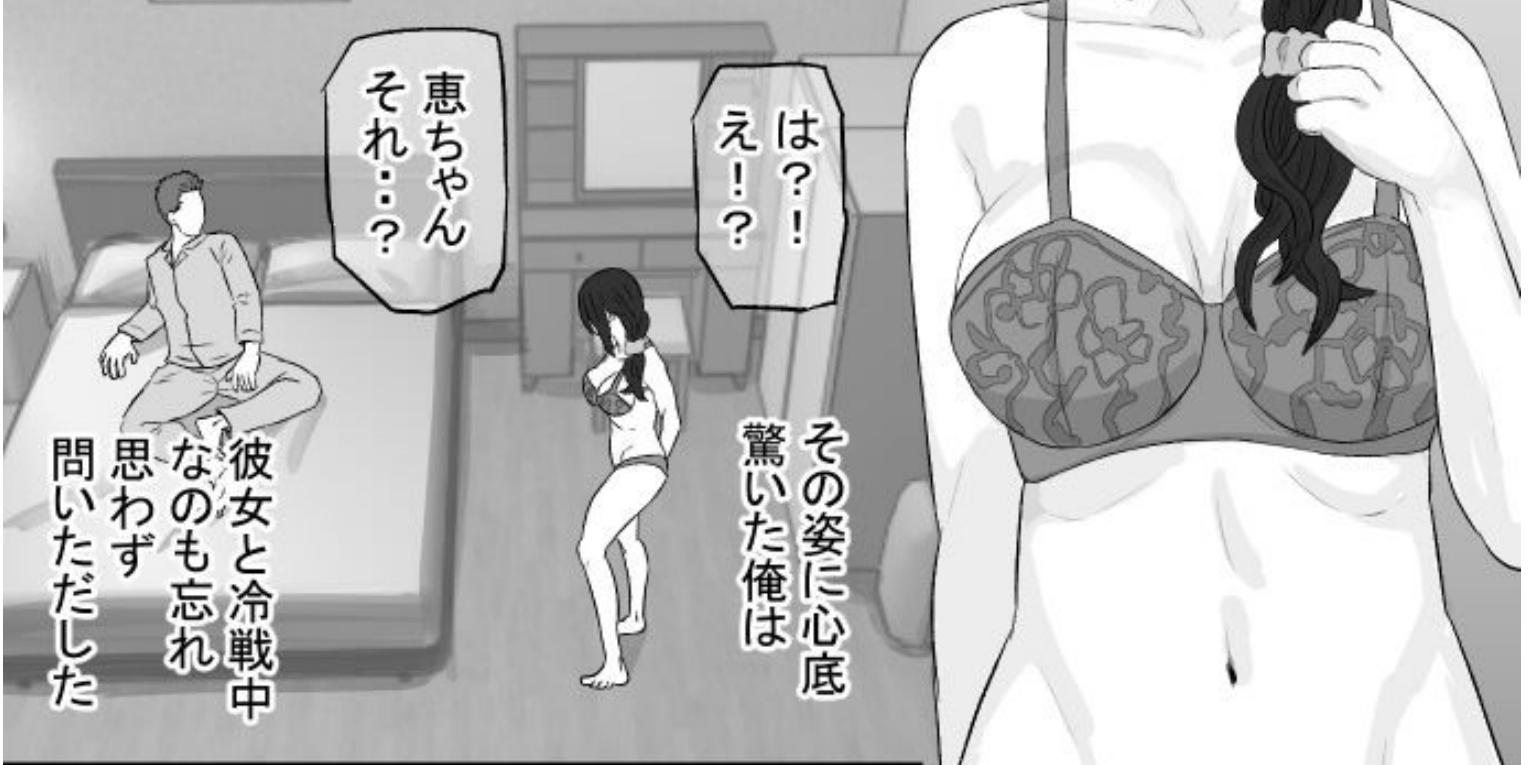


恵ちゃん
それ…？

は?!
え!?!

その姿に心底
驚いた俺は

彼女と冷戦中
なのも忘れ
思わず
問いたました



う…

修くん…

妻はそれに
答える間もなく
俺に近寄り



爺との不倫に対して
であろう弁明を
始めた

……ごめんなさい
……

修クンは全然
悪く無いの

悪いのは本当に
全部私……

離婚されても
全然仕方無いと
思ってる

ただ……
これだけは言わせて……

本当に私が——
私が愛してるのは……


修クン唯一人なの

それだけ
どうしても
伝えたくて……

……恵ちゃん


そして

……




俺たち夫婦は
数か月ぶりに
唇を重ねたのだった


チュ...



その瞳には
大粒の涙が
浮かんでいた



内心途惑いつつも
彼女の方を見ると



修クン...
ごめんね...
私こんな事しか
できなくて...

この下着も
喜んでもらえる
かなって...

そう言って妻は
俺の寝間着を
脱がし



俺の乳首を
責め始めた

レロ..

ツ...



この舌使いも
あのヒビ爺が
仕込んだかと思うと
一瞬哀しくなったが

い..

恵ちゃん
...
...

い..



クッ...!!

クッ..

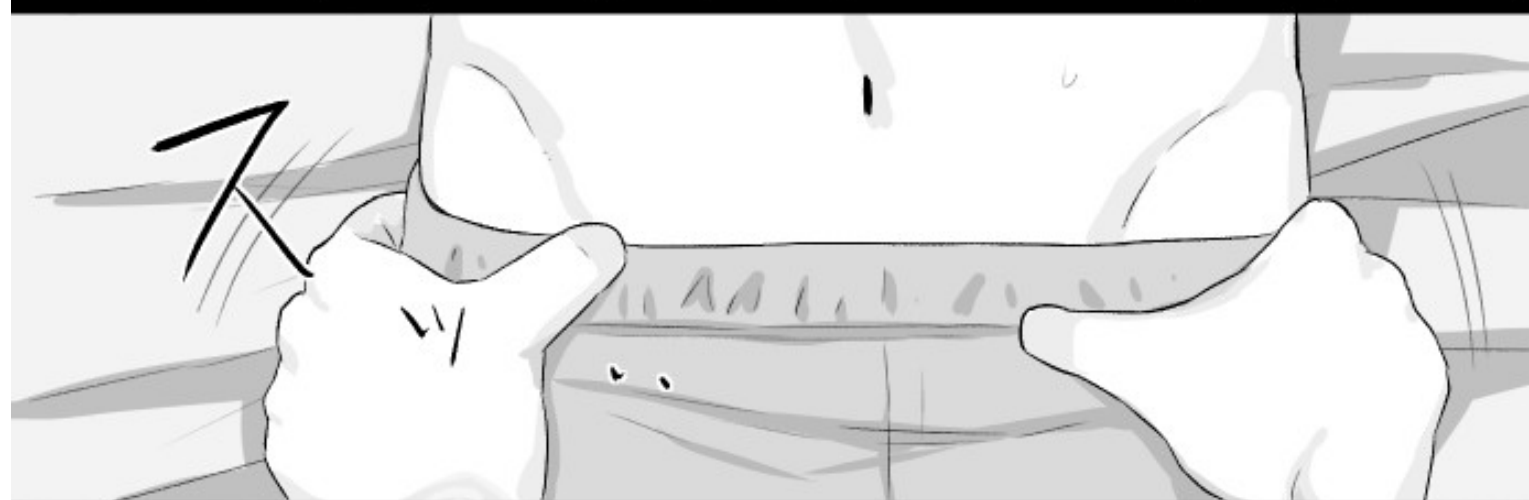
クッ..

ゼン...

そんな事を
一瞬で忘れる位
その責めは
刺激的だった



当然俺の
ちんちんは
フル勃起する



すると彼女は
笑みを浮かべながら
ナニを取り出した

そして

彼女は心底嬉しそうに
俺のチンポを啜えこんだ



俺はプロも含め

色んな女性に
フェラしてもらったが



この数か月



おそらく
あのヒビ爺に
仕込まれたであろう
この彼女のフェラが

クツ...

ごめん...
もう出る...

スツッ...



一番気持ち良かった

ズツッ...

勢いあまって
思わず彼女の口内に
ブチ撒けてしまった

オ。。

うめん…今
ティッシュを…

ゴクニ

しかし彼女は
その精液を

躊躇なく飲み込んで
しまった

ふふ…

一杯出たね♡

俺はそれを
嬉しいと思いつつも

ハハハハ

わ…

正直若干
引いてしまった
のだった

その後休憩を挟み

俺の希望で

人生初の
シックスナインをする



その時の彼女の
まんこは

うわ……

めっちゃ
濡れてる……

俺とのセックス史上
一番濡れていた



そして
俺は彼女を
満足させるべく

ガムシヤラに
クニニをした
のだった



それから
しばらく

け……
恵ちゃん

本当に
良いの？

うん……

生でっころめ♡

ニ
ッ。



うん



うん♡

じゃあ…
イクね…



せく…

んうっ

俺達夫婦の初めての
コンドーム無し
生セックスが始まった



うお…!!

おっ…

みち…

みち…

彼女の生の
膣内はとても
熱くトロけており
ゴム有りの時とは
まるで別物だった

このセックスで

俺が間違いなく
言える事は

これが俺の人生で
一番気持ちの良い行為である
と言う事だ

ツ……

♡……♡

恵ちゃん
っ……
俺っ……!!

……
良いよ♡

♡……♡
中で
出して♡

ははは

俺は初めて
彼女に中出しした

っ……!

あ……



しばらく
余韻を楽しんだ後

肉棒を引き抜くと

彼女の性器から
ドロリと
精液が溢れ出た

この時彼女は幸せそうに
俺に微笑みかけた

修クン……
頑張ったね♡

は……♡

は……♡

すごい
気持ち良かったよ♡

恵ちゃん……

この時にはもう
不倫の事など
頭に残っておらず
彼女と関係を
改善できたことが
ただ嬉しかった

ちなみに離婚届は
彼女に見つかる前に
破いて捨てた



それから1か月——

ほぼ毎日セックスを
していた

俺たち夫婦は
今までの溝を埋める
かの様に

お互い愛し合い
間違いなく
幸せな結婚生活だった

——のだが
俺はある2つの不安が
どうしても頭から
離れなかった

一つは
これまでの
セックスで
彼女を一回も
絶頂させられ
なかった事

そして
もう一つは

妻の不倫相手である
ヒビ爺の存在だ



一時期本気で
訴えようと思ったが
妻の立場を考えると

下手に大事にする
訳にはいかなかった
のでそのまま放置
していた

そんなある休日
妻が用事で家を空けたので
俺は自宅のパソコンで
嫌な予感を感じつつも



例の素人カップルの
エロ動画投稿サイトを
覗いてみた

すると
その予感通り

例のヒビ爺が投稿した
であろう



妻の新作エロ動画が
アップされていた

やっぱり……

恵ちゃん…

動画内の彼女は
例の紫の派手な
下着を着けていた

最近どーしたの
ケーコちゃん？

グイ

…

誘っても全然
来てくれない
じゃーんw

旦那さんと
仲直りしたw？

おw

ハッ

やめて下さい
…

今日だって
来たくなかった
けど

あなたが
来なきゃ
関係を皆に
バラすって…



私が愛してるのは
本当に……
夫だけなんです……

それが今ようやく
関係が修復
できそうなんです

お願いします……
本当にこれっきり
してくれませんか……？

妻の涙ながらの
俺を思ってるの
懇願——

俺も思わず
泣きそうに
なってしまう

恵ちゃん……！

ヒヒ爺は彼女の涙も
全く意に介さず
ギン。

だが

ふん……

ま
一発やっつてから
考えるよ♡

その凶暴な
肉棒を
放り出した

ホッラ
ケーコちゃんの
大好物

ツ……

久しぶりの
極大おちんぽ
だよ♡

ケーコちゃん

ボクのちんぽの
臭い嗅ぐと

う……

エッチなスイッチ
入るもんね♡

やせ我慢
しなくていいよw

ちめっ……

ほらw
もう目が
トロ〜してるw

っ……

違っ……



それじゃ
...



下着脱いで
四つん這い
になってw

は...
い...
...

ダメ...

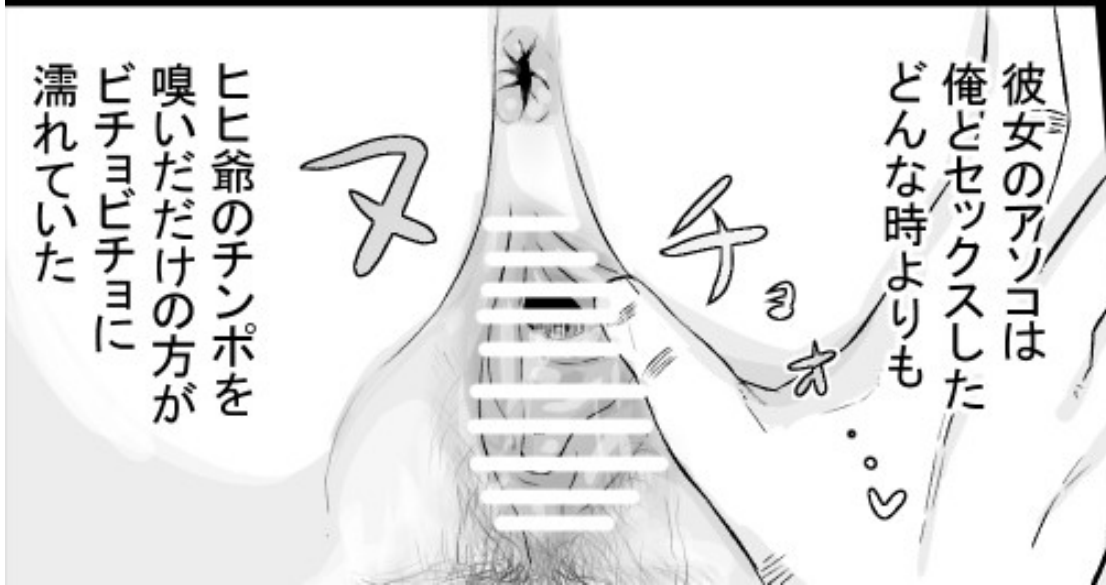
何も
考えられない
...



おほw
ケーコちゃんの
マンコ凄いいw
なってるじゃんw

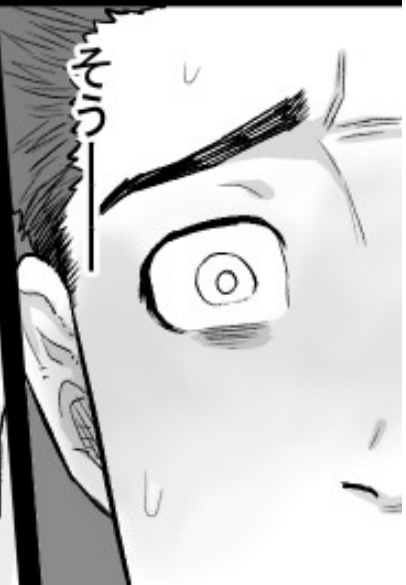
...
...
これで...

良いですか...?



彼女のアソコは
俺どセックスした
どんな時よりも

ヒヒ爺のチンポを
嗅いだだけの方が
ビチヨビチヨに
濡れていた



そっ...

うひょろ♡
久々のケーコ
ちゃんのまんこ

トロトロで
めっちゃ
美味そう♡

せつ...

せつ...

せつ...

あー

じゃ
イタダキます♡

せつ...

どお？
気持ちいい？w

ケーコちゃん
アナル舐めながら
まんこホジるの
好きだったでしょ？

せつ...

せつ...

せつ...

ありやまだ
膣内カタいね〜

旦那さんに
イカせてもらって
ないでしょ？

あ：あ：
修クンと
全然違う…!!

何でこんなに
私の弱い所
的確に当てられるの？

ゼン：♡

ほらあ？
どう？

旦那さんと
どっちがイイ？w

ゼン：♡

♡
♡
♡

あ：あ
ああ：

ダメ：
私：

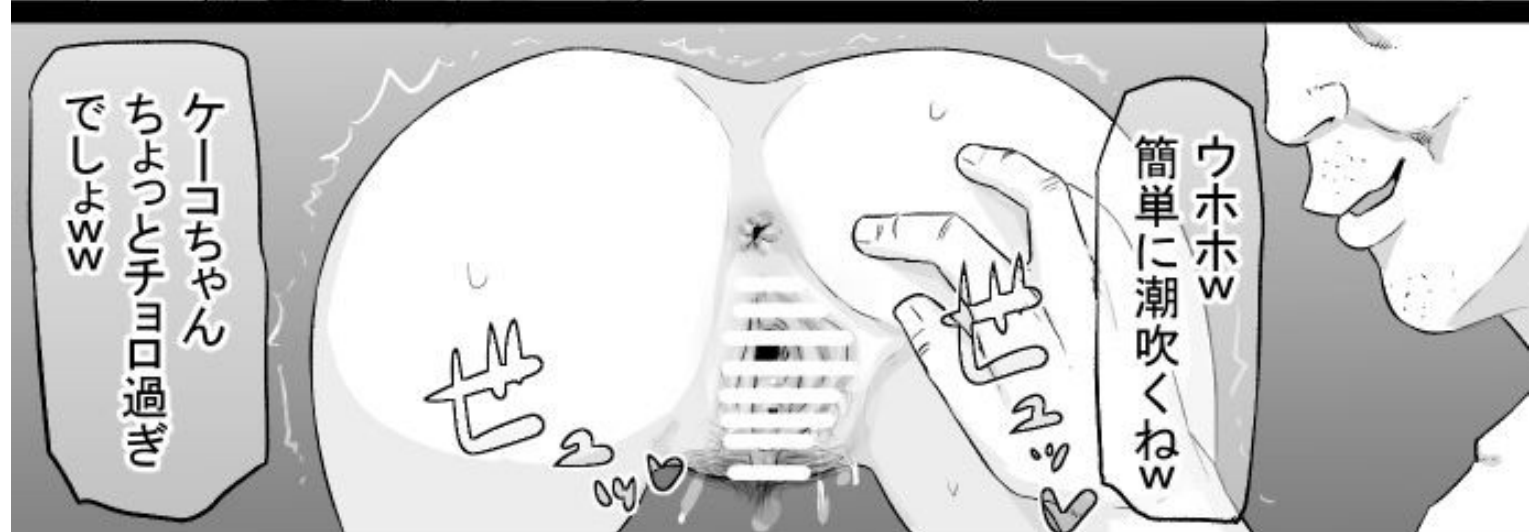
もうイキそう
かな？♡

おw
中がピクピク
してきた♡

♡
♡
♡



こうして彼女は
ヒヒ爺の手によって
簡単に絶頂した



うほほw
簡単に潮吹くねw

ケーコちゃん
ちよつとチヨロ過ぎ
でしょww



俺が決して
できなかつた
最愛の妻の絶頂を

いとも簡単に
実行できるこの
60近い爺に
対して俺は

ッ…
同じ男として
圧倒的な
敗北感を感じ
ゲロを吐きそう
になった

次はケーコちゃん
の番ね♡

あ

ほら早くw
啜えて啜えてw

絶頂して更にスイッチの
入った彼女は

完全な雌の表情で
ヒヒ爺のチンポを
啜えた

は...あ...

すごいエッチな
臭い...

やっぱり
カズ君のと
全然違う...

パンパンに張って
脈打ってる...♡

この時の彼女の
貌は別人の様に
色気があった



そしてもう
挿入が我慢
できないのか



チンポをしゃぶりながら
自分のアソコを
イジリ始めた

すっごい
ガツツキぶり
だねw
ケーコちゃん
そんなに
溜まってたの？w



ダメ……
指……
止まらない……♡

ズ
グググ

彼女の手の動きは
快楽を求めるために♡

激しさを増し
やがて

あ…♡
あ…♡

ダメ…
もう♡

いいね♡
ちゃんと
飲んでねw

妻とヒト爺は
同時に果てた



ヒヒ爺の命令通り
彼女は跪き

その汚い
アナルを舐め
始めた



じゃ
次はボクの
アナルね♡

...



妻はアナルを丹念に
舐めると同時に
チンポもしごいた

あゝ
いいね♡

ケーコちゃんの
アナル舐めしごき
最高♡



嫉妬で気が狂いそうに
なりながらも

ぐく...

当然そんな
マニアックな
事をさせて
無い俺は

そのプレイを見て
人生最大級の
勃起が止まらなかつた

それから
場面は変わり

じゃあ
ケーコちゃん

ハッ♡

いつもの
おねだり
やってみようか♡



修クン…
本当にゴメン
なさい…

ハッ♡

店長の…
ぶっといチンポを
…

私のおまんこ
にブチ込んで
下さい…♡

妻は蕩けた雌の貌で
アソコを拡張
ヒビ爺のちんぽをねだった

ほあ♡





はは…
はい…

あ…あ…
ダメ…

あの大きい
のが私の中に
…



じゃケーコちゃん
イクよ♡

ズ
ズ



せり

そしてトト爺は
そのぶつとい肉棒を
妻の中に一気にブチ込んだ

あ
い
い

ヒヒ爺が肉棒を
突く度にアソコから
本気汁が吹き出た

ボクのちんぽと
旦那さんの
どっちがイイの？w

く...
う...

ゴメン...
修クン...
私っ...

この人のおちんちんに
逆らえないっ...

は...♡

て...
店長の
です♡

その時ふと
知り合った
学生の時から

結婚して4年
経った今までの
妻の顔が
走馬灯のように
頭をよぎったが

やあ

そののどれにも
当てはまらない
この彼女の表情から

俺は何故か
目が離せなかった

おちんちん
スゴイ

そして—
何故か俺は

この表情が
今までで一番
美しいと
感じてしまった

あーあー
イクイク

ゴク

俺が見惚れている
間にもヒビ爺の
ピストンは激しさを
増していき

びびる

世の

うわー

中に出すよーん

は…は…
はいいい…

やがて

男は容赦なく
俺の愛する妻に
中出しした

あーあー
あーあー
あーあー

そして肉棒を引き抜くと
彼女の膣から

俺より遥かに濃い
精子がドロリと
溢れ出た



その後も当然
絶倫である
ヒヒ爺のセックスは
続き





俺はヒヒ爺への
敗北感で
死にたくなり

ダダダ
あーあー

せーの

キ

イ
ク
ム

今すぐ動画を消して
目を背けたくなるが

せーの



心の奥底で
俺は——

世
の
こ
い
し

♡
♡
♡

彼女のこの痴態を
何度も見てみたい
——そう思ってしまった

キ

♡

